

寿都地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>寿都地域は「寿都・後志ツーリズム交流文化圏の形成」をキャッチフレーズとして、内陸の地域と広域的に連携しつつ寿都地域の活性化を目指す内容となっている。寿都湾に注ぐ河川流域のつながりの中で交流人口の増加をきっかけに、寿都地域の活性化を狙っていく点に特徴があり、地域として価値あるビジョンとなっている。</p>
<p>ロ．当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込め、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>寿都湾に注ぐ朱太川流域の繋がりで、内陸の黒松内町との広域的な連携協働を行ってビジョンを実現させていく内容となっており、広域的なモデル性が評価できる可能性があるが、現段階においては海側の中核的交流拠点となる海の駅（本年度末完成）の活用方策に不透明なところもあるので、評価は保留する。3次評価の段階において再度ビジョンの実行状況も見据えて評価することにする。</p>
<p>ハ．当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>多様な協議会参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。特に、オール寿都と言えるメンバーや外部の寿都応援団を交えた活発な議論によって検討されたビジョンであり、地域での合意形成に工夫がなされ、ビジョンを推進していくための環境醸成もなされている。</p>
<p>ニ．当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>拠点漁港の寿都漁港はモデル性が確保されている。今後水産物のストック機能を向上させるための畜養施設の整備が計画されており、地域マリンビジョンの取り組みを実現する一助と期待される。なお、基盤整備を行うには一定の時間を要することから、整備を待たずに出来るところからビジョンの取り組みを行い、将来的に基盤の効果が最大限発揮してビジョンが効果的に実現していくことを期待したい。</p>
<p>ホ．地域マリンビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>モデル性が評価できる可能性のある取り組み内容の実効性については、海の駅の活用方策の具体化が大きな影響を及ぼすことから評価を保留する。 3次評価の際には、広域性として評価する可能性のある朱太川流域環境共生圏の形成についてのマリンビジョンをきっかけにした新たな取り組み、海の駅を効果的に活用した交流人口の地域への波及方策が具体化していることを期待するとともに、地域における責任ある実行主体が明確になっていることを期待したい。</p>